

トピックス 鉄道総研ロビーにカスタマーズスクエアがオープンしました

平成26年3月25日、鉄道総研国立研究所ロビー内にカスタマーズスクエアがオープンしました。このカスタマーズスクエアは、鉄道総研の情報発信のひとつとして、鉄道総研国立研究所を来訪された鉄道事業者をはじめとする関係者の方々に、鉄道総研の研究開発成果を紹介する場として整備しました。

ここでは、すぐに活用していただける成果を中心に、概要をわかりやすく展示しています。現在は、9件の成果を常設パネルで示し、それぞれについてタッチスクリーン式モニターにより、研究者自らが成果の概要や機能などを説明する動画もあわせてご覧いただけます。また、モニターでは、鉄道事業に役立つ研究成果や技術支援、鉄道総研が保有するさまざまな実験設備、各種の技術交流活動についてもお知らせしています。さらに、実際に直接見て触っていただけるように、研究成果の実物の展示も行っています。

これらのコンテンツおよび展示内容は定期的に更新していく予定です。ご来訪の折にはお立ち寄りいただきますようお願い申し上げます。



カスタマーズスクエア

トピックス 鉄道総研の職員が黄綬褒章を受賞しました

鉄道総研の職員が、平成26年春の褒章で黄綬褒章を受章しました。



黄綬褒章

受章功績：業務精励
(ラダー軌道システムの発明考案)

受章者：研究開発推進室
主管研究員
涌井 一

功績概要：

受賞者は、日常の保守が格段に少なく済む次世代バラスト軌道や、環境性能に優れた新形式直結軌道を実現するため、従来は実現困難とされてきた長尺(6~12m)な縦マクラギ(名称：ラダーマクラギ)を世界で初めて開発しました。この革新的な縦マクラギ技術を用いて、保守が極めて少なく済む「バラスト・ラダー軌道」ならびに騒音・振動が格段に小さい「フローティング・ラダー軌道」(両

軌道を総称して「ラダー軌道システム」)を実用化しました。

本開発により、鉄道技術の根幹たる軌道構造技術を世界に先駆けて飛躍的に高めることができました。既に首都圏を初めとする踏切除却のための連続立体交差化事業に主要な軌道として採用されるなど、広く活用されています。これにより、安全かつ乗り心地の良い次世代軌道の実現、沿線住民に及ぼす騒音・振動による負荷の大幅低減、保守コスト削減による鉄道会社の経営改善など、多面的に優れた実施効果を発揮し、21世紀の社会・経済および国民生活に大きく貢献しています。



フローティング・ラダー軌道